

海外安全対策情報（平成30年度第1四半期）

1 社会・治安情勢

パラナ州公安局発表によるクリチバ市の2017年の殺人件数は379件で、件数、殺人率共に依然として高い数値で推移している。2017年クリチバ大都市圏での殺人件数は900件、10万人あたりに換算すると27.4件、世界保健機構が許容範囲としている殺人件数（10万人当たり10件）の約3倍。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）クリチバ市及び大都市圏では近年、誘拐、ATM爆破強盗、携帯電話販売店や薬局店、レストラン及び住居を狙った武装強盗、運転中及び停車中を狙った車両強盗、武装集団による長距離バス及び路線バス内強盗が多発している。時間帯、場所を問わず銃器を使用した犯罪が増加しており、十分な注意が必要である。渡航情報（危険情報）については、パラナ州クリチバ大都市圏は「十分注意してください」を継続中。

（2）パラナ州西部に面する隣国との国境地帯（特にパラグアイ）からは頻繁に大麻等の麻薬類及び銃器類の密輸が行われており、軍警察による押収量は増加する一方である。2009年及び2010年のパラナ州における武器押収量は全伯一位である。近年、パラナ州は麻薬の搬入ルートのみならず麻薬消費地域となっており、麻薬絡みの犯罪も増加している。

3 犯罪事例（4月～6月）

（1）5月25日（金）早朝、クリチバ市内連邦大学近くにある公園付近で、45歳の男性が刃物で刺された。被害者男性は公園前のバス停まで逃げてきたが、犯人は拳銃を持っており追いかけてきて被害者に向け発砲した。被害者は病院へ搬送されたが命に別状は無く、カーキーパー間のトラブルが原因であった。その後続けてトビアスデマセド通りで56歳男性が刃物で刺された。被害者男性は3カ所刺され病院へ搬送されたが命に別状は無かった。警察は2件の事件の犯人は同一犯と見て捜査中。

（2）5月24日（木）22時頃、クリチバ市アグアベルジ地区のバス停で、改札係の人が刃物で刺され殺害された。事件後何も盗まれたものは無く、犯人は薬物中毒者であった。

（3）6月10日（日）午後遅く、クリチバ市内シルバジャルジン大通りのバス停付近で、軍警察官がバス停を歩いていたところ車両進入禁止の通りに入る車両を発見し、不振に思い近づいたところ突然拳銃で撃たれた。犯人グループは倒れた同警察官の拳銃を

奪い逃走した。その後別の軍警察官が犯人グループの車両を発見し銃撃戦になった。同警察官が撃った弾丸は犯人車両のリアガラスに命中し、犯人グループは車を乗り捨て逃走したが軍警察のヘリコプターが追跡され逮捕された。犯人グループは5人組で、クリチバ市コロボ地区にて車両を強奪し、クリチバ市内セントロ地区のガソリンスタンドに併設しているコンビニエンスストアで商品と現金を奪った後の事件であった。

(4) 6月16日(土)夜、クリチバ市内のショッピングセンターミレーの前で、18歳の男性2人組が強盗目的で通行中のカップルを襲った。被害者カップルの男性はたまたま非番であった軍警察官で所持していた拳銃で犯人1人の足を撃ち、撃たれた犯人は病院へ搬送されもう1人は逃走した。

(5) 16日(土)午前10時頃、クリチバ市ヘボサス地区で強盗犯と軍警察官の銃撃戦があった。強盗犯はクリチバ市内ファゼンジーニャ地区(事務所から9.3km)のパン屋で強盗し、付近の車を奪い逃走した。車にはGPSが設置されており所有者が軍警察に通報したため、付近にいた軍警察官はクリチバ市内ヘボサス地区まで追跡した。軍警察官は途中逃走車に向け発砲、犯人も応戦し銃撃戦となった。軍警察官の撃った弾丸は運転していた犯人に命中、コントロールを失った逃走車は2台の車に激突し停車した。負傷した犯人は病院へ搬送された。

(6) クリチバ市内サントスアンドラーデ広場横にあるパナラ連邦大学の側面部にある地下に通じる入り口付近に、麻薬密売人が集まっているため、6月20日(水)、地方自治体の文化遺産評議委員会は柵を設置する様決定した。設置時期については未定。

(7) 6月21日(木)朝、クリチバ市セントロ地区ヴィスコンデデグアラプアバ大通りとドウツールファイヴェ通りの交差点にある薬局で、1人の男性が客を装い店に入り強盗しようとしたところ、他の客に取り押さえられ警察に引き渡された。犯人は少年で、おもちゃの拳銃を所持していた。

(8) 2018年のデータによるとブラジルの殺人率の高い上位10地区の殺人件数は10万人あたり6.3件を超えており、社会的格差等が原因と考えられる。この上位10地区には全体の25.3%の子供が住んでおり、水道や下水のインフラが整備されていない家に住む人々は全体の5.9%、15歳から24歳で無職の人々は全体の14.1%となる。この上位10地区で15歳から29歳の若者が殺害された件数は2006年から2016年にかけて23%増加し犠牲者は33,590人になる。ブラジル全土では11年間に324,967人の若者が殺害された。

殺人率の高い上位10地区は以下の通り。

1. ケイマドス (リオデジャネイロ)
2. エウナポリス (リオデジャネイロ)
3. シモエスフィリョ (バイーア)
4. プルトセグロ (バイーア)
5. ラウロデフレイタス (バイーア)
6. ジャペリ (リオデジャネイロ)
7. マラカナウ (バイーア)
8. アウタミラ (パラナ)
9. カマカリ (バイーア)
- 10. アウミランチタマンダレ (パラナ)**